

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：マジオたんぽぽ保育園下平間	種別：認可保育所	
代表者氏名：和田 智子	定員（利用人数）：30名	
所在地：神奈川県川崎市幸区下平間386-1		
TEL：044-511-800	ホームページ： https://www.magionet.co.jp/tanpopo/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社マジオネット多摩		
職員数	常勤職員：6名 非常勤職員：10名	
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士10名	調理師1名
	看護師1名	子育て支援員1名
	保育補助2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室2室	事務室1室
	乳児室1室	調理室1室
	ほふく室1室	

③理念・基本方針

<理念>

私たちは 誰もが幸せになれる未来を創造するために 保護者と一体となり 人間性豊かな子どもを育てることで 社会に貢献する。

<基本方針>

1. 自分の気持ちを十分に表現できる環境を提供する。
2. 子どもの個を認め、受け止める。
3. 一人一人を十分に愛し、共感する。
4. 制作、音楽活動、生き物の飼育などを通して、感性を育む。
5. 保護者と一体となり、チャレンジできる場所、機会を与える。
6. 皆が理念、目標に賛同できるように、啓発し続ける。

<保育目標>

1. 自ら考えて創意工夫ができる子
2. 人を思いやれる心の優しい子
3. 自分を信じ、愛することができる子
4. 知的好奇心の旺盛な子
5. 挑戦できる勇気のある子
6. 皆が一体となり、社会に貢献できる子どもを育てる

④施設・事業所の特徴的な取組

＜マジオたんぽぽ保育園 下平間の特徴的な取り組み＞

- 定員30名、各クラス5名の少人数で温かい家庭のような保育を行っています。近隣には多くの公園があり、散歩や自然探索等に適した環境で、天気の良い日は毎日散歩に出かけています。
- 3歳～5歳児クラスは、一人ひとりの興味関心に合わせ、主体的に遊ぶことを目的として、様々な遊びのコーナーを設け、異年齢保育に取り組んでいます。
- 食育活動では、野菜の栽培、食材の紹介、クッキング等、楽しく行っています。
- 1歳児クラスから講師による英語あそびを毎週取り入れ、楽しく英語に親しむことができています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年07月07日（契約日） ～ 2021年11月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（年度）

⑥総評

【マジオたんぽぽ保育園下平間の概要】

●マジオたんぽぽ保育園下平間は、株式会社マジオネット多摩（以下、法人という）が運営する認可保育園です。法人は、「利他の心」という理念の下、時代のニーズに即したきめ細やかな子育て支援サービス事業を展開しており、現在、東京都・神奈川県で8園の保育園を運営しています。保育理念に沿い、保護者も子どもも安心して通える、地域に根ざした保育園を目指し、アットホームな雰囲気の中で、一人ひとりの個性を大切にしながら、きめ細やかな愛情ある保育を実施しています。法人は、共働き世帯の増加や核家族化・ライフスタイルの多様化等、子育て環境が大きく変化する時代において、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を温かく育てていくことが使命と考え、保育事業に尽力しています。

●マジオたんぽぽ保育園下平間は、各クラス定員を5名とした少人数保育により職員の日が行き届いた個別支援を行い、保育活動では常に異年齢保育を行い、同じ空間の中で集団活動を通して、年長児は自然と年下の子どもの手伝いや手本となる自覚が芽生え、幼児は年長児の姿を見て憧れを持つ等、互いに思いやる気持ちを育みながら共に成長していくことができる保育を実践しています。

●マジオたんぽぽ保育園下平間は、JR南武線「鹿島田駅」から徒歩15分またはJR川崎駅からバスで10分「南下平間」下車、徒歩3分程度の府中街道沿いに面した場所に位置しています。マジオたんぽぽ保育園下平間は園庭を有していませんが、広いウッドデッキのテラスが設けられ、子どもたちはウッドデッキに出て車を見たり、様々な遊具で遊んでいます。近隣には多くの公園が点在し、天気の良い日には毎日散歩に出かけ、自然探索を通して子どもの興味・関心を引き出しています。少人数制の特性を生かし、職員は子ども一人ひとりと愛着関係を築きながら、温かい家庭的な保育を提供しています。

◇特に評価の高い点

1. 【小規模の良さを生かした保育】

●定員30名、各クラス5名の小規模の良さを十分に生かし、一人ひとりの子どもの個性、家庭での生活リズムを大切にし、子どもとの関わりだけでなく保護者と密な連携も図ら

れています。家庭的な雰囲気の中で、きめ細やかな愛情ある保育を実施しています。職員は、生活の中で子どもができることにはなるべく手を出さず、自発的な活動を促すよう心がけ、一人ひとりに時間をかけて関わり、目が行き届いた徹底的な保育はマジオたんぽぽ保育園下平間の特徴です。また、施設長や主任は、登降園時に可能な限り保護者と関わるよう心がけ、直接、園での1日の様子や遊び時のエピソードを伝える他、ウェルキッズシステム（保育管理システム）を利用した連絡帳の活用で、家庭ときめ細やかな連携が図られています。

2. 【豊かな活動・豊かな感性の育み】

●3歳～5歳児については、一人ひとりの興味や関心に合わせて、自主性・主体性を持って遊べるよう保育室に様々なコーナーを設け、「個」を大切にした保育を実施しています。また、異年齢保育を取り入れ、遊びの中で子ども同士関わり合いながらルール等を学ぶ機会を設け、社会性も培っています。子どもたちは、広いウッドデッキに出て泡遊びをしたり、近隣の多摩川の土手に行って「すべり遊び」で体を思いっきり動かして楽しんでいます。また、リズム体操や楽器を活用した活動で表現力や想像力を育み、英語あそびを（1歳児から実施）毎週取り入れて英語音、異文化に触れる等、様々な活動により感性を高めています。

3. 【安心・安全な保育環境】

●保育室の温度・湿度・採光・室内清掃等の管理は、「保育の流れ詳細マニュアル」に沿い、常に適切な状態を維持し、安全で明るく清潔な保育環境を確保しています。毎日、保育室の棚や机・椅子・玩具等の子どもが触れる箇所は消毒・清掃を行い、清潔で気持ちの良い環境を提供しています。各保育室には床暖房を設備し、クラスの仕切りにはクッション材を採用する等、子どもの安全を第一に考えて整備しています。また、保育室は、次亜塩素酸空間除菌脱臭機「ジアイーノ」4台を設置し、抗菌のデルフィーノ施工により感染症予防にも万全を講じています。子どもや保護者に安全で安心して心地良く過ごせる保育環境を提供しています。

◇改善を求められる点

1. 【常勤職員の人材確保】

●マジオたんぽぽ保育園下平間では常勤職員6名に対し、非常勤職員10名という職員体制において、現状、常勤職員にかかる負担が大きくなっています。現在の非常勤職員の育成に力を入れ、常勤職員共に意識の向上を図る取り組みが必至です。職員配置を踏まえ、常勤職員を確保するよう、取り組みの1つとして、実習生の受け入れから入職へ誘う機会を設ける等、一考が望まれます。また、実習生等の専門職の育成への寄与を含め、職員の「実習生指導のための研修」の実施等、受け入れ体制を整備することは日常業務の見直しにもつながります。保育士養成校等へのアプローチや、実習生の受け入れ、インターンシップ等に力を入れ、今後、積極的な実習生の受け入れにより人材確保へつなげる工夫が期待されます。

2. 【ICT化への取り組み】

●法人として日常業務の効率化・職員の負担を軽減するために現在、ICT化を進めています。現状、システムを上手く使いこなせない、操作が複雑であり入力に時間を要し、作業効率化が図れない等、不具合等も生じています。また、不得手の職員に対して、得意な職員が教えながら業務を進める等、付随業務が発生することも考えられます。今後、ICT化に関する勉強会や研修機会を設け、全職員がICTを有効活用できるよう、業務の実効性の向上を図り、取り組んでいかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： マジオたんぽぽ保育園 下平間

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

保護者の皆さまには、ご多忙中にも関わらず、調査にご協力いただき、大変ありがとうございます。

今回は、新型コロナウイルス禍での第三者評価の受審となり、感染症対策や行事の縮小、新たな行事への取り組み等、例年通りと違った形になることが多々ありました。保護者の皆さまに保育園の様子をお伝えすることが難しい現状ではございましたが、たくさんの温かいお言葉をいただき、心より感謝申し上げたいと思います。

第三者評価受審では、今後も継続すべき点、検討すべき点等、新たな気づきや課題が得られるとても良い機会となりました。

今後も、子どもたち一人ひとりの心に寄り添い、子どもたちが毎日楽しく過ごせる保育園、保護者が安心して利用できる保育園、地域に根ざした愛される保育園であるよう、努めて参りたいと思います。

<評価後取り組んだ事として>

1. 人材確保
2. 人材育成・研修へ参加し、スキルアップ
3. 希望が多かった行事、運動会の開催
4. 新型コロナウイルス禍に応じた保育参観
5. 職員紹介の作成

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり